

令和元年度第1回練馬区立美術館運営協議会 要録

日時：令和元年11月22日（金）午後2時

場所：サンライフ練馬3階研修室

出席委員 高橋幸次会長、島田紘一呂副会長
青木茂委員、伊豆井秀一委員、佐藤康宏委員、島田紀夫委員、
内藤正人委員、柴田さちこ委員、富田けんじ委員、
岩瀬たけし委員、きみがき圭子委員、須藤麻世委員、齋藤宜子委員、
渡邊瞳委員、吉田巳蔵委員、江川誠志委員
区職員 小金井地域文化部長、小沼文化・生涯学習課長

課長：本日は皆様お忙しい中、また、お足元の悪い中お越しいただきまして真にありがとうございます。
ただいまから令和元年度第1回練馬区立美術館運営協議会を開催いたします。
はじめに小金井地域文化部長よりご挨拶申し上げます。

部長：改めまして練馬区の事業にご協力いただきありがとうございます。今日は寒い中、雨の中本当にありがとうございます。今年は様々な大きな災害があり、先日の大きな台風での初めての大きな計画運休に伴いまして、私どもの美術館も2日間休館を経験いたしました。おかげさまで館自体は大きな事故もなく、収蔵品も含めて展覧会の作品も傷めずに済みました。ご覧になった方もいらっしゃるかと思いますが、現在「エドワード・ゴッリーの優雅な秘密」を開催しております。これは巡回展ではありますが、若い方々や幅広い年齢層の方がお見えになりまして、25000人近い方がご覧になられています。こうやって順調に運営、活動できていますけれども、今日はぜひ忌憚のないご意見をいただき、更により施設にしていきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。また、この運営協議会につきましては、来年3月で2年間の委員の任期が終了いたします。引き続き、委員の皆様にはぜひ次期協議会にも引き続き委員としてご協力いただきたいと思います。つきましては、次回までに事務局から依頼をすることがあるかと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。本日はよろしく願いいたします。

課長：続きまして、美術館運営協議会委員の議会選出委員の変更に伴う、新委員への委嘱をさせていただきます。大変恐縮ですが、机の上にて委嘱状の配布を持って委嘱と代えさせていただきます。お配りしてある名簿をご覧ください。それでは、新たにご就任いただいた委員からご挨拶を一言いただきたいと思います。

< 新任委員あいさつ >

ありがとうございます。続きまして、事務局の職員を紹介いたします。

< 職員紹介 >

そして、美術館の運営にあたる、指定管理者の文化振興協会の同席をお願いしてございます。美術館の秋元館長からご挨拶と美術館職員の紹介をいたします。

館長：館長の秋元です。どうぞよろしくお願いいたします。

<美術館職員紹介>

課長：それではここからは会長に議事進行をお願いしたいと思います。会長よろしくよろしくお願いいたします。

会長：ありがとうございます。それでは、議題に入る前に、委員の出席状況について、事務局からご報告してください。

課長：本日は、委員2名から欠席の連絡をいただいております。現在の委員は18名、うち16名の出席でございます。従いまして、美術館運営協議会条例第7条第2項の規定により、本日の協議会は成立いたしました。なお、傍聴希望者はありません。以上ご報告いたします。

会長：ありがとうございます。はじめに、本日の議事の進行についてお諮りいたします。次第の1、平成30年度事業報告から、順次、事務局より説明を受け、議題ごとに質問等を受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

<異議なしの声>

会長：それでは、次第の1「平成30年度事業報告」について、説明をお願いします。

館長： <「平成30年度事業報告」について説明>

会長：「平成30年度事業報告」について、質問などがありましたらお願いします。

委員：練馬文化の会美術会の展示会は5日間で1500人～2000人来場していただいています。18歳以上の方なら誰でも、絵画、工芸、彫刻等を出せるということで非常に親しまれており、歴史もあります。区の後援事業ですが、こちらの資料の中に載せていただけないのでしょうか。

副館長：こちらの資料については、練馬区主催・共催の事業のみ載せております。

委員：ご説明ありがとうございました。2点程伺いたいののですが、6ページの入館者数・観覧者の推移について、平成29年度よりは残念ながら少し落ち込んでいるのは、いろいろ理由をうかがって分かるのですが、その中ですごいなと思ったことのひとつが、29年度に比べて、企画・コレクション展観覧者数は2万人くらい減っている。他方で入館者数はそれほど減少が見られない。結構この差が大きいと思いました。その背景には、入館者数を減らさないご努力が何かあっ

たのか教えてくださいますか。

副館長：小学校連合同工展など企画展以外の貸出の展覧会の観覧者数が多かったということが考えられます。

委員：ありがとうございます。16ページですが、学校との連携ということはいろいろと練馬区の中でも言われていると思いますが、学校としての参加校、参加人数を書きいただいている中で、平成30年度の数が出ていますが、平成29年度は少し多かったというのも含めて、こちらについての美術館としての評価、これくらいの人数を予想していたのか、あるいは予想より多かったのか、その辺をおしえていただけますでしょうか。

館長：あらかじめ予想数字は作っているのですが、相手の学校の興味関心や事情により、増減が起きることはあります。もちろん参加していただくように様々なアナウンスや広報はしているのですが、内容やスケジュールによって合う合わないがあります。

委員：17ページのティーチャーズデイのことなのですが、先生方に活用していただくためにということですが、具体的にこういった形で活用されているのかお聞かせいただければと思います。

学芸員：区内の小中学校の先生方に1か月前くらいにお知らせしています。展覧会担当の学芸員が展覧会をギャラリートークしながらご案内して、最後に私が教育普及のプログラムをご説明します。そこで顔見知りになったり、お話をした先生方が翌年に(団体鑑賞を)やって欲しいというふうにお問い合わせくださったりします。実際の学校行事につながりはしないのですが、先生方と定期的に顔を合わせることで学校の事情等を私どもが知ることが出来るというのが活用方法の一つとお答えできるかと思います。

委員：参加される学校は同じ学校が多いのか、割と幅広くいろんな学校が毎年新しく参加されるのでしょうか。

学芸員：先生方個人のご興味や学校と美術館との距離等の事情がおありになると思うので、常連の先生方が多いかなと思います。
ただし、春の最初の回は、初めてという方も多くいらしていただきます。

委員：ありがとうございます。7ページになるのですが、教育普及事業の項目で、定員、申込、参加ということで書いてありますが、定員以上に申込があって、参加者が定員に至っていないケースもあるようです。例えば、当日どうしても来られなくなってしまう方もいらっしゃると思うのですが、当日の受付枠は作っていらっしゃるのでしょうか。

学芸員：やはり抽選でやっているものですから、当日来た方に空いているからどうぞというのは、抽選で落ちてしまった方の事を考えるとできませんので、当日

受付は基本的にしておりません。ただし、定員割れしている場合には、受付をしていて、事業を知らずに来た方を誘い込むという場合もあります。

委員：ありがとうございます。せっかく、子供というのは時期的にも一生に一度の出会いっていうのもあるかもしれませんので、例えば抽選に外れてしまった方にも、当日キャンセルが出た場合にご参加いただくようなことは難しいのでしょうか。

副館長：補欠は設けてございます。事前に事情があって来られなくなったという連絡があれば、補欠の1番の方からご案内するという形はとっています。

委員：せっかく皆さん相当な準備をされてお待ちになっていると思いますから、特に子供達とか希望者には機会が行き渡ればと思いました。ありがとうございます。

部長：補足です。学校との連携ですけれど、経過を申しますと、この委員会でもご意見をいただいていた。当初学校利用が非常に少なかった。それを担当の学芸員と学校の美術部会の先生方と綿密に取り組み始めまして、やっと成果が出てきたと認識しています。さらに、他の美術の先生の中でも、こちらに目が向かなかった先生方にどうやって広げるかというのが今の課題だと認識しています。数字的には順調に増えてきていますが、一方で、教育課程の美術の時間、全体の時間が狭まっている中で、ここまで来て、半日近く時間を取るということになります。全校来てもらうのが理想だけど、全校は無理かなというのがあります。近いところは皆さん来始めてくれているというところでは。区としても力を入れております。

会長：「平成30年度事業報告」について、ほかに質問がなければ、承認とさせていただきます。つぎに、次第の2「令和元年（平成31年）度事業計画」（中間報告）について、説明をお願いします。

館長：＜「令和元年（平成31年）度事業計画」（中間報告）について説明
... 館長、担当学芸員＞

会長：「令和元年（平成31年）度事業計画」（中間報告）について、質問等がありましたら、お願いいたします。

委員：ご説明ありがとうございました。本当にいろんな企画をなさっているのだなと勉強になったのですが、その中でとても面白いなと思ったのが、教育普及事業のトコトコ美術館です。資料の43ページです。未就学児と保護者の方を対象とした鑑賞プログラムということですが、こちらについて、私も小さい子供がいるので非常に面白いなと思ったのですが、残念ながら私は知らなかったのですね。どのように宣伝されているのか、実際に行った結果等教えていただけますか。

学芸員：トコトコ美術館は実は10年前から開催しておりまして、同じ内容のものを4回ないし5回やっている形で、年にそれを3～4回行っているという状態です。大変好評いただいている事業でして、10年前の最初のころに来てくださった方がその後も小学生、中学生になって、最近講演会に一人で来るようになったり、入口として活用していただいていると実感しております。次の品川展に関連して開催する予定があります。区報、HP、展覧会チラシと個別の事業の小さなチラシを配布していますけれども、小さいお子さんのお母様は、チラシをいろいろな施設で見られるようで、そこが情報源になっているようです。保育園にもお配りしています。そういったアンケート結果を見る人が多いです。今回は区報が出る前に定員が埋まりかけておりまして、毎回抽選をさせていただいて、実施しているような状況です。

委員：ありがとうございます。全然知りませんでした。私も子供と参加できたらと思います。区の方に一つ伺いたいのですが、美術館のリニューアルっていうことで今お話が出た中で、これから構想の内容がそろそろ出てくるかと思いますが、そういった内容は美運協では共有されたり議論されたりするのでしょうか。

課長：はい。美術館再整備基本構想検討委員会の進捗状況につきまして、ご報告させていただきます。昨年度から検討委員会を立ち上げまして、秋元館長が委員長となって、これまで7回検討委員会を開催してきました。一昨日の11月20日に検討委員会からこれまでの議論のまとめを「提言」という形で、区へ提出して頂きました。今後、区で諸条件を固めていき、現在作成中の公共施設等総合管理計画との整合性も含めて検討し、来年度中に基本構想を策定していきたいと考えております。提言につきましては、今回作成したばかりということもあり、日程の都合上、この場に資料としてご用意することはできませんでしたが、今後議会にもご報告し、次回の美術館運営協議会に資料として提出し、皆様からご意見を頂きたいと考えています。先ほど申し上げました公共施設等総合管理計画も議会に報告されます。そちらでのご意見をいただくことも始まると聞いておりますので、よろしく願いいたします。

会長：「令和元年（平成31年）度事業計画」（中間報告）について、ほかに質問がなければ、承認とさせていただきます。以上で、本日の議事については、終了いたします。次に、次第の3「その他」について、何かありますか。

課長：美術館の指定管理者について、追加でご報告なのですが、今いろいろご説明しております練馬区文化振興協会に指定管理者ということで運営を委託しているところでございます。現在の指定管理者期間が5年を経過するというところで、来年度に向けて選定をしている段階でございます。第四回定例会において、引き続き指定管理をお願いしていくという形で議案を出させていただく予定です。指定期間通常5年のところを、今回は1年という形にさせていただいております。文化振興協会が指定管理者として運営している施設が、練馬文化センター、大泉学園ホール、石神井公園ふるさと文化館、美術館とござ

いますけれども、この文化施設の指定管理期間を揃えて一括での提案を受けることを計画しているためです。美術館を1年とすることによって、ようやく他の文化施設との指定管理期間がそろうという状況になっていますので、また議会の方でご審議をいただきたいと考えているところでございます。

会 長：それでは、以上で美術館運営協議会を終了いたします。次回は、来年3月27日（金）午後の開催を予定しております。ご協力ありがとうございました。